

事務事業名	国保運営協議会運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	地方税法
政策名	07	社会保障システムの充実と健全な運営	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課	国保医療係 係(グループ)
施策名	19	国民健康保険制度の充実	課長名	江口 久子	担当者名 日下勝祐 (内554)
基本事業名	3421	財政健全化の推進	予算科目	会計 2 1 3 1	事業 070117国保運営協議会運営事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 昭和36年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 国民健康保険事業の運営を円滑に遂行するため、町長の諮問に応じて事業運営に関する重要事項を調査審議する。 国民健康保険法に基づき設置されているもので、委員12名。	全体計画	(単位:千円)
	事業費	特定財源 一般財源 その他 事業費計(A)
	人件費	正規職員従事人数 人 人件費計(B)
	投入量	トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 協議会、研修会をそれぞれ年1回開催	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 協議会、研修会開催回数 回 イ ウ
17年度計画 16年度と同様	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 協議会委員数 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 協議会委員 12名	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 協議会、研修会開催回数 回 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 国民健康保険財政の健全運営のため、保険税率の設定など町長の諮問に対して調査審議し答申を行う。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 適正な国保制度の確立と運営 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 国民健康保険財政の安定的な運営の確保と適正事業の実施。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>14年度(実績)</th> <th>15年度(実績)</th> <th>16年度(実績)</th> <th>17年度(見込)</th> <th>18年度(目標)</th> <th>19年度(目標)</th> <th>年度(最終目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>374</td> <td>94</td> <td>152</td> <td>552</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>374</td> <td>94</td> <td>152</td> <td>552</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>126</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>374</td> <td>94</td> <td>278</td> <td>552</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象指標</td> <td>人</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上位成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	事業費								特定財源	千円							一般財源	千円	374	94	152	552			その他	千円							事業費計(A)	千円	374	94	152	552	0	0	人件費								正規職員従事人数	人	1	1	1	1			人件費計(B)	千円	0	0	126	0	0	0	トータルコスト(A)+(B)	千円	374	94	278	552	0	0	活動指標	回	2	1	2				対象指標	人	12	12	12				成果指標	回	2	1	1				上位成果指標							
単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)																																																																																																										
事業費																																																																																																																	
特定財源	千円																																																																																																																
一般財源	千円	374	94	152	552																																																																																																												
その他	千円																																																																																																																
事業費計(A)	千円	374	94	152	552	0	0																																																																																																										
人件費																																																																																																																	
正規職員従事人数	人	1	1	1	1																																																																																																												
人件費計(B)	千円	0	0	126	0	0	0																																																																																																										
トータルコスト(A)+(B)	千円	374	94	278	552	0	0																																																																																																										
活動指標	回	2	1	2																																																																																																													
対象指標	人	12	12	12																																																																																																													
成果指標	回	2	1	1																																																																																																													
上位成果指標																																																																																																																	

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 昭和36年度の国民健康保険法の施行	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 医療の高度化及び高齢化に伴う医療費の増高に対応するための医療制度改革による法改正により、年々保険給付の内容が多様化し複雑になっている。また、長引く不況のありを受けて被保険者数が年々増加している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	各々の立場から意見が出され、各種の課題や施策の検討について合意形成が図られている。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	法定されている。		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	設置は法定されているが、人数は任意なので拡大・縮小の余地はある。しかし、現在の被保険者代表4名、保険医代表4名、公益代表4名による構成は適切なものと思われる。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	国保事業を取り巻く環境が大きく変化している状況下、研修会の充実や協議会による意見聴取の機会を多くする必要がある。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	事業運営において重要事項を町長が諮問し、答申を得ることから税率設定等に大きな影響が生じる。		
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	法定されているため余地はない。		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】			
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	報酬や費用弁償について町全体の意志決定として整理する場合は影響がない。		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	協議会及び研修会への町側の出席者数を減らすことのみ可能。		
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	定められた報酬と費用弁償を支払っており、特になし。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下	×		×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			×																		
	維持																					
	低下	×		×																		

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？